

平成 23 年度 普通会計・特別会計



飯山市の平成 23 年度普通会計および特別会計決算がまとまりました。今回はその状況をお知らせします。

普通会計とは——
一般会計、福祉企業センター特別会計、ケーブルテレビ事業特別会計を合わせたものです。

実質公債費比率、将来負担比率とも一層改善
節度ある財政運営で、健全化を推進

歳入

平成 23 年度
の一般会計
と特別会計

を合わせた決算額は、歳入（収入）216億5887万円、歳出（支出）では209億4901万円となりました。

普通会計（一般会計に福祉企業センターとケーブルテレビ事業の各特別会計を加えたもの）の歳入については、平成 22 年度に過疎指定を受け、本格的に過疎対

策事業に取り組み過疎債の借入れ等が増えたことにより、市の借金である市債が26・7 増の9億6650万円となりました。市税収入では、景気低迷などの影響で、たばこ税を除く全税目で収入が減少し、前年度比1・9 減少しました。歳入全体では昨年度比0・02 増の145億6843万円となり、自主財源比率は、諸収入の増加により0・8 増の37 増となりました。

歳出

普通会計
の歳出
は、新幹線

駅西地区整備や区画整理、市営飯山シャUTTエ整備などのため、普通建設事業費は、対前年度比9・7 増の20億8859万円。借入金

の返済にあたる公債費は、過疎債の返済が順調に行われ、新規の借入を抑制してきたことにより12・9 減の15億4310万円となりました。また扶助費については、子ども手当や児童扶養手当の制度改正と豪雪に伴う雪害救助派遣員の増により、3・2 増の13億8196万円となりました。37・4 増と大幅に増加した維持補修費につきま

しては、今冬の豪雪に伴う除排雪経費の増が主な要因です。人件費については、1・8 増となりましたが、これは共済組合負担金や消防公務災害補償掛金の増加が主な理由です。歳出全体では1・1 増の139億504万円となりました。

普通会計以外の特別会計（12ページ参照）についても会計について黒字決算を計上することができました。飯山市における健全化判断比率（13ページ参照）では、実質公債費比率、将来

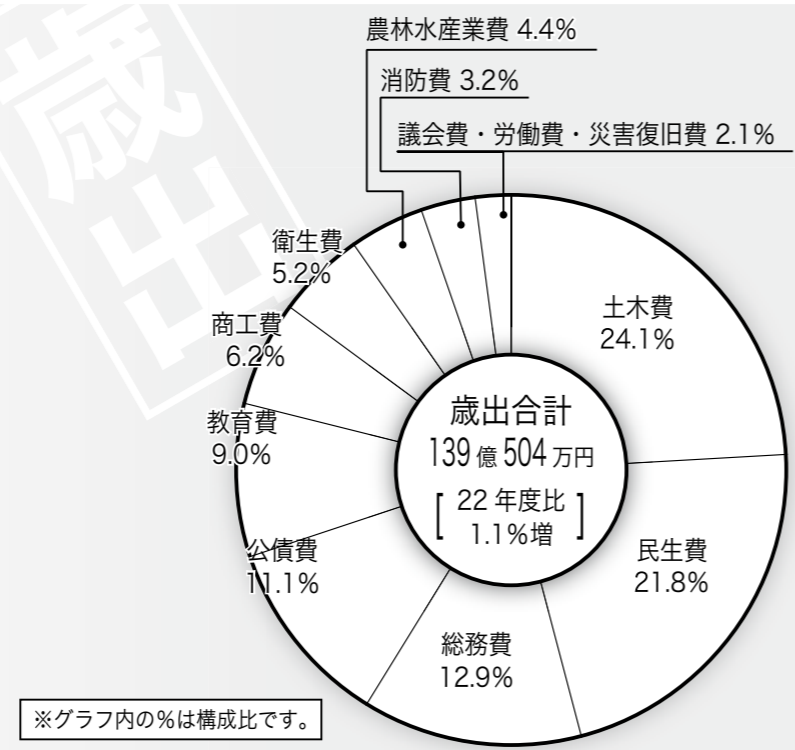
歳出の決算額（性質別歳出の状況）

区分	決算額	対前年増減
普通建設事業費	20億8859万円	9.7%↑
人件費	19億3168万円	1.8%↑
繰出金	18億6671万円	0.9%↑
物件費	17億936万円	2.1%↑
公債費	15億4310万円	12.9%↓
扶助費	13億8196万円	3.2%↑
補助費等	12億1862万円	2.1%↑
投資・出資金・貸付金	9億6622万円	2.7%↓
維持補修費、その他	11億9880万円	5.8%↑

歳出の決算額（目的別歳出の状況）

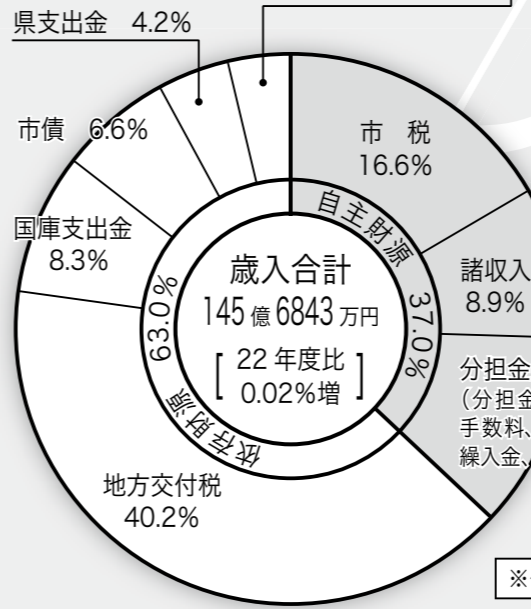
区分	決算額	対前年増減
土木費	33億5768万円	4.5%↑
民生費	30億3537万円	3.7%↑
総務費	17億9306万円	19.6%↓
公債費	15億4310万円	12.9%↓
教育費	12億5396万円	26.2%↑
商工費	8億6836万円	21.1%↑
衛生費	7億2302万円	11.1%↑
農林水産業費	6億1185万円	3.9%↓
消防費	4億3640万円	10.9%↑
議会費・労働費・災害復旧費	2億8224万円	27.2%↑

負担比率とも、普通会計の地方債償還が進み数値が改善しています。地方債の元利償還金は、平成 17 年度をピークに減少を続けており、平成 23 年度の地方債残高は76億8472万円となり前年度から約4億7000万円減少しています。実質公債費比率、将来負担比率における主な指標要因である地方債償還額、地方債残高の減少は、補償金免除繰上償還の活用や新規の借入を抑制し、地方債償還を着実に進めてきた結果といえます。今後とも国・県の動向や、経済状況などに注視しつつ、適切な長期財政推計に基づいた節度ある財政運営に努めていきます。



※グラフ内の%は構成比です。

地方譲与税・各種交付金（地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、自動車交付金、地方特例交付金、交通安全交付金）3.7%



※グラフ内の%は構成比です。

歳入の決算額

区分	決算額	対前年増減
地方交付税	58億6229万円	3.0%↓
市税	24億2493万円	1.9%↓
諸収入	12億8996万円	6.0%↑
国庫支出金	12億1008万円	4.9%↓
市債	9億6650万円	26.7%↑
県支出金	6億903万円	10.9%↓
分担金・負担金など	16億8229万円	6.9%↑
地方譲与税・各種交付金	5億2335万円	3.8%↓

市税の内訳

税目	決算額	構成比	増減率
固定資産税	12億2042万	50.3%	0.6%↓
市民税	8億9890万	37.0%	6.2%↓
市たばこ税	1億6536万	6.8%	14.8%↑
軽自動車税	6952万	2.9%	0.6%↓
都市計画税	6190万	2.6%	0.7%↓
入湯税	882万	0.4%	7.6%↓

用語解説

- 歳入：市民税や固定資産税など、市に納められた税金。
- 地方交付税：所得税などの国税のうち一定の割合を、市の状況に応じて国から配分されるお金
- 諸収入：他の収入科目に含まれない収入をまとめたもの。延滞金、預金利息、宝くじ収益金などもこれにあたる
- 分担金・負担金：分担金は、市の事業により特に利益を受ける者から、その受益の限度において徴収されるもの。負担金は、地方公共団体が、他の市や住民に課するもので健康診断受診者負担金が代表的なもの
- 各種交付金：国税として国が徴収した財源を、一定の合理的基準によって地方公共団体に再配分されるお金
- 市債：市が建設事業等の財源とするための長期の借入金で、償還が一会計年度を超えるもの
- 国庫支出金：国から支出される、原則的に使途が特定されている負担金、補助金、交付金、委託金等
- 地方譲与税：国が国税として徴収し、そのまま地方公共団体に対して譲与する税

用語解説

- 歳出：道路や河川、新幹線などの整備に使われたお金
- 民生費：高齢者や障害者、児童福祉の推進などに使われたお金
- 総務費：人事管理や財産管理、企画調整や地域振興、税務事務などに使われたお金
- 公債費：これまでに公共事業などで借り入れたお金の返済に使われたお金
- 教育費：小中学校の管理運営や施設整備、および生涯学習の推進などに使われたお金
- 商工費：商業や観光の振興および企業の誘致などに使われたお金
- 衛生費：ごみの処理や健康増進事業などに使われたお金
- 農林水産業費：農業、林業、畜産などの振興に使われたお金
- 消防費：消防団の運営や常備消防の維持など、消防活動や救急活動に使われたお金
- 議会費：議会運営に使われたお金
- 労働費：労働行政に使われたお金
- 災害復旧費：災害復旧のために使われたお金

平成 23 年度決算に基づく 健全化判断比率など

健全化判断比率には、「早期健全化基準」と「財政再生基準」があり、4 指標のうち各基準を1つでも上回ると「早期健全化団体」、「財政再生団体」へと移行し、財政健全化計画の策定などが義務付けられています。

【健全化判断比率】

指 標	22 年度	23 年度	早期健全化 基準	財政再生 基準
実質赤字比率	—	—	13.68%	20.0%
連結実質赤字比率	—	—	18.68%	35.0%
実質公債費比率	15.8%	14.7%	25.0%	35.0%
将来負担比率	90.9%	75.4%	350.0%	

実質赤字比率、連結実質赤字比率

実質赤字額がないため（黒字のため）「—」で表示しています。

実質公債費比率、将来負担比率

実質公債費比率は 1.1 ポイント、将来負担比率は 15.5 ポイント前年に比べて改善しました。どちらの指標も補償金免除繰上償還の活用、新規地方債の抑制などにより、地方債償還額および地方債残高が減少していることが要因の1つとして挙げられます。

普通会計地方債残高は、平成 22 年度の 81 億 5491 万円から平成 23 年度は 76 億 8472 万円となり、1 年間で 4 億 7019 万円減少しました。

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、飯山市の健全化判断比率（実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率の 4 指標の総称）と、公営企業の資金不足比率を公表します。

【資金不足比率】

決算において資金不足を生じた公営企業がないため該当ありません。「資金不足比率」は各公営企業の資金不足額が、事業規模に対してどの程度あるかを示す数値で、基準値を超えると「経営健全化計画」を定める必要があります。

健全化判断基準とは・・・

実質赤字比率・・・一般会計などを対象とした実質赤字額が標準財政規模に対する比率です。

連結実質赤字比率・・・全会計を対象とした実質赤字額の標準財政規模に対する比率です。

実質公債費比率・・・地方公共団体の収入に対する借金返済額の比率を示すもので、普通会計の公債費に下水道特別会計や水道事業会計などへの繰出金（公債費相当）と岳北広域等への分担金（公債費相当）を加算し、財政負担の度合いを判断するものです。

18%を超えると地方債発行について国や県の許可が必要となります。

将来負担比率・・・地方公共団体の一般会計などの借入金（地方債）や将来支払っていく可能性のある負担などの残高を現時点で指標化し、将来財政を圧迫する可能性の度合いを示す比率です。

350%を超えると健全化計画を策定し、財政の健全化を図らなければなりません。

飯水岳北交通安全住民大会

道路河川課 監理係 ☎ 62-3111 内線 271

飯山市・木島平村・野沢温泉村・栄村の 4 市村で飯水岳北交通安全住民大会を開催します。

当日は、上町から飯山小学校までのパレードの後、飯山小学校体育館では交通安全の意見発表や県警察音楽隊によるアトラクションも行われます。多くの皆様のご参加をお願いします。

■日 時 11月3日（土・祝）
午後 1 時 45 分～3 時 50 分

■会 場
・パレード 上町～本町～仲町通り～飯山小学校
・式典 飯山小学校体育館
（雨天時は式典のみ開催 午後 2 時 20 分～）

■内 容
・交通安全の意見発表
・交通安全宣言
・県警音楽隊によるアトラクション（演奏）ほか

上下水道課業務係 ☎ 3111 内線 221・222

生活排水は遅滞なく、トイレは 3 年以内に・・・

下水道への早期接続をお願いします。

全市的に整備計画がされた下水道施設（農集含む）は、現在新幹線飯山駅周辺を残し全て完成しています。下水道は環境衛生向上のため、皆で利用していただきたい施設であり、下水道が供用開始となった地域では「生活排水は遅滞なく、トイレは 3 年以内に下水道に接続」と下水道法で定められています。まだ接続工事を行なっていないお宅は計画的に準備を進めていただき早めに接続をお願いします。また、合併浄化槽をお使いの方も維持管理費のかからない下水道への切り替えをお願いします。

下水道への接続工事については、市の指定工事店に依頼してください。なお、下水道について詳しくは上下水道課までお問い合わせください。

土 木 費

- 道路新設・改良事業（1 億 7055 万円）
- 協働のみちづくり事業（2998 万円）
- 除雪対策費・除雪機械整備（5 億 6933 万円）
- 北陸新幹線鉄道整備事業（4765 万円）
- まち並整備事業（1620 万円）
- 景観形成整備事業（1037 万円）
- 仁王像関連事業（89 万円）



- 飯山城址整備事業（1142 万円）
- 区画整理・新幹線駅周辺整備・関連事業など（12 億 3307 万円）
- 住宅リフォーム支援事業（1500 万円）
- 移住・定住の住宅建設支援（2839 万円）

商 工 費

- プレミアム商品券発行補助事業（858 万円）
- 地域資源活用型起業支援事業（200 万円）
- 企業誘致対策（2459 万円）
- 誘客宣伝観光振興事業（853 万円）
- 観光地再生モデル推進事業（1191 万円）
- 信州いいやま観光局運営事業（2500 万円）
- いいやま湯滝温泉施設整備事業（8595 万円）
- インバウンド推進事業（315 万円）

衛 生 費

- 各種検査、予防接種など（9656 万円）
- ごみ減量・再資源化推進（414 万円）
- 岳北広域行政組合衛生関係施設運営負担金（2 億 5486 万円）
- リサイクル推進（2559 万円）

平成 23 年度 普通会計決算

主な使 い道

特徴的な事業、生活に身近な事業
（1 万円未満四捨五入）

民 生 費

- 飯山市社会福祉協議会補助（2277 万円）
- 福祉車両購入事業（418 万円）
- 高齢者生きがい対策事業（2051 万円）
- 老人施設入所措置事業（6582 万円）
- 後期高齢者医療市町村負担事業（2 億 6738 万円）
- 子ども手当・児童手当等給付事業（3 億 9578 万円）
- 学童クラブ運営事業（4048 万円）
- 雪害対策救助員派遣事業（2129 万円）

教 育 費

- 幼稚園就園奨励事業（1021 万円）
- ジュニアスポーツ振興事業（1036 万円）
- 学力向上総合対策事業（535 万円）
- 小中学校施設整備事業（5687 万円）
- 中学校スクールバス運行（1065 万円）
- スキー 100 周年誌編集・記念事業（710 万円）



- 市営飯山シャンツェ整備（1 億 6279 万円）
- 文化財保護管理・調査（1202 万円）
- 体育施設リフレッシュ事業（2936 万円）

農林水産業費

- 中山間地域等直接支払い事業（8057 万円）
- 農地・水保安全管理支払事業（1501 万円）
- 協働のむらづくり事業（916 万円）
- 鳥獣害・病害虫対策（451 万円）
- 協働のもりづくり事業（104 万円）

総 務 費

- 公共交通運営事業（8077 万円）
- 輝く地域づくり支事業（485 万円）
- コンビニ収納事業（1002 万円）
- 市マイクロバス整備事業（1571 万円）
- コミュニティ助成事業（760 万円）
- ふるさと寄附金推進事業（1202 万円）

消 防 費

- 消防団の運営経費（8708 万円）
- 消防防災施設整備、管理（1423 万円）
- 災害対策・防災減災対策（621 万円）
- 長野県総合防災訓練事業（324 万円）



平成 23 年度 特別会計決算

特別会計名	歳 入	歳 出	差引残額
公共下水道事業	8 億 7140 万円	8 億 6440 万円	700 万円
特定環境保全公共下水道事業	3 億 8635 万円	3 億 8181 万円	454 万円
農業集落排水事業	3 億 4988 万円	3 億 4322 万円	667 万円
簡易水道等	2 億 2700 万円	2 億 2373 万円	326 万円
国民健康保険	25 億 6249 万円	25 億 5481 万円	768 万円
介護サービス事業	1008 万円	941 万円	68 万円
介護保険	24 億 4107 万円	24 億 2621 万円	1486 万円
後期高齢者医療	2 億 2734 万円	2 億 2555 万円	179 万円

- ・いずれも普通会計に算入していないものです。
- ・1 万円未満四捨五入により端数処理してあります。
- ・下水道事業特別会計は 10 ページでお知らせしています。

決算

(地方公営企業)

飯山市水道事業(会計)の決算の概況をお知らせします。

【平成23年度の概況】

当会計期間の飯山市水道事業の営業状況は、営業収益のうち大半を占める給水による収益(水道料金収入)は、4億1894万円となりました。(震災や原発事故の影響および節水意識の向上などにより供給量が減少し、前年度比約4.1割の減少)

平成 23 年度 水道事業の給水状況

年度末の給水戸数	6488戸
年度末の給水人口	1万7691人
年間の総配水量	260万5654㎡
1か月の平均配水量	21万7138㎡
年間の有収水量	193万2375㎡
1か月の平均有収水量	16万1031㎡
有収率	74.2%
供給単価	216.80円
給水原価	203.63円

有収水量：水道料金請求の対象となった水量

一方、水道事業における建設改良工事の状況は、定期的な配水管等の布設替工事のほか、新幹線飯山駅の駅前周辺の配水管工事、新幹線関連工事となる地元簡易水道等の受託工事として施設整備を実施しました。結果、前年度に引き続き新幹線関連事業を多く進めた年度となりました。主な工事は、木島地区吉区において水源送水管布設工事、上新田区において配水管布設替工事、有尾減圧弁更新工事や有尾浄水場テレメーターの落雷等による停電対策工事、有尾第1配水池の流量計の更新工事、国際ポンプ室配水池のテレメーター設置工事等を行いました。

新幹線関連事業としては、駅周辺土地地区画整理エリア内における新規配水管布設工事を行いました。新幹線の受託工事で、新水源開発事業として木島山岸水源についての既存井戸や湧水の影響調査を行い、また水源および送水管の設計委託、旭北部簡水の水道道路改良工事263.3kmを行いました。

また、水道施設整備等の事業実施のために借入れた、企業債の繰上償還(返済)も行いました。(年度末企業債残高、約19億5700万円、前

【安全でおいしい水の安定的な供給を】

水道事業は、地方公営企業として常に企業の経営性を発揮しながら、計画的に事業を実施していますが、ここ数年配水地からの水量に対して料金として回収される水量の割合(有収率)の低下が見られます。漏水が主な原因と考えられることから、漏水か所の特定と修理を行い有収率の向上を図り、経営の改善に努めます。引き続き「安全でおいしい水の安定的な供給」をいたしますので、市営水道のご利用をお願いいたします。

【年度比11.6割減】

このような状況の中、23年度の水道事業会計は、黒字を計上することができました。

営業収益・営業外収益を合計した収入は4億6993万円、支出は4億1492万円となり、この結果当年度の純利益は5501万円になりましたが、前年度繰越欠損金が2234万円あるため、3267万円翌年度へ繰越となりました。

市内空間放射線量測定値

市民環境課 生活環境係 ☎62-3111 内線 191・192

9月中の市内空間放射線量測定値を公表します。測定の結果、健康に影響を与えるおそれのある数値(0.19 μSv/h)は測定されていません。

(月内に複数回測定する箇所は最新測定値です)

施設名(地区名)	測定日	天候	測定区分	測定値
飯山市役所(飯山)	9/26	晴	1m	0.07
あきは保育園(飯山)	9/19	曇	地表	0.10
中央幼稚園(飯山)	9/19	雨	地表	0.12
めぐみ保育園(飯山)	9/19	曇	地表	0.09
しるやま保育園(飯山)	9/19	曇	地表	0.08
秋津保育園(秋津)	9/19	曇	地表	0.08
木島保育園(木島)	9/19	曇	地表	0.08
瑞穂保育園(瑞穂)	9/19	曇	地表	0.08
いずみだ保育園(柳原)	9/19	曇	地表	0.07
常盤保育園(常盤)	9/19	曇	地表	0.07
とがり保育園(太田)	9/19	曇	地表	0.07
しらかば保育園(岡山)	9/19	曇	地表	0.12
飯山小学校(飯山)	9/19	曇	地表	0.08
秋津小学校(秋津)	9/19	曇	地表	0.08
木島小学校(木島)	9/19	曇	地表	0.12
東小学校(瑞穂)	9/19	曇	地表	0.10
泉台小学校(柳原)	9/19	曇	地表	0.07
常盤小学校(常盤)	9/19	曇	地表	0.07
戸狩小学校(太田)	9/19	曇雨	地表	0.06
岡山小学校(岡山)	9/19	曇	地表	0.06
//	9/26	晴	1m	0.08
城南中学校(飯山)	9/19	雨	地表	0.07
城北中学校(常盤)	9/19	曇	地表	0.08

はじめての方も大歓迎！ 参加者募集

介護予防 ノルディックウォーキング

地域包括支援センター ☎62-3111 内線 183・186

市では、高齢者の介護予防のための事業を行っています。運動習慣を身につけて、要介護状態等になることを予防し、住み慣れた地域で、自分らしく暮らしましょう。この機会にぜひご参加ください。



募集要項

- 日時 11月7日(水) 午前9時30分～11時30分
- 受付 午前9時15分から
- 集合場所 飯山市保健センター
- 内容
インサイドアウトスキークラブの指導で、保健センター周辺約2kmをノルディックウォーキングします。体力に自信のない方でも指導員が付き添いますので無理なく歩けます。(雨天の場合は、室内でポールを使った運動を行います)
- 持ち物・服装 タオル、飲み物、歩ける服装
- 対象者 飯山市内にお住いの65歳以上の方
※ただし、基本チェックリストに該当された方が優先されます。
- 定員 30名(先着順)
- 参加費 300円
- 申込期限 10月31日(水)
- その他 ポールの貸出(無料)もありますので、お問い合わせください。

11月は児童虐待防止推進月間

気づくのは あなたと地域の 心の目

【お問い合わせ・ご相談・目撃情報など】 中央児童相談所 ☎026-228-0441 飯山市福祉事務所 ☎62-3111 内線 171

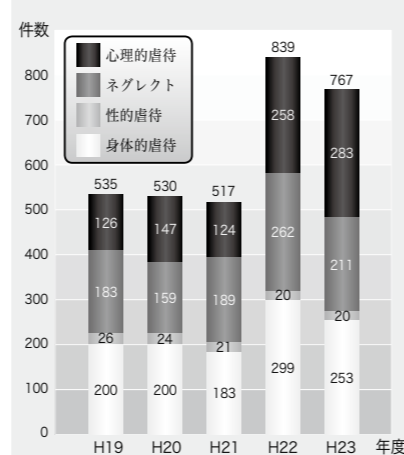
児童虐待について知ってください

児童相談所では全国的に児童虐待の相談件数が増加しており、子どもの命が奪われる重大な事件も後を絶たない状況です。虐待には、暴力を振るう身体的虐待のほか、ネグレクト(育児放棄)、心理的虐待、性的虐待があり、虐待者は実母、実父が多くなっています。虐待を受けた子どもは自分を大切に思えず、心に受けた傷に一生苦しむこともあります。

不安や悩みをひとりで抱えこまないで

子育てに悩みや不安を感じたら、自分だけで抱え込まず、保健師や保育士、家庭児童相談員に相談しましょう。また、「虐待かな?」と思われる子どもや家庭を知った人は、中央児童相談所または飯山市福祉事務所へご連絡ください。社会全体で子どもを見守り、児童虐待のない社会にしていきたいと思います。

県内児童相談所における 区分別相談件数の推移



貸借対照表の要旨 (平成24年3月31日現在) 単位: 万円

資産の部		負債・資本の部	
有形固定資産	51億2554	引当金(修繕)	2492
土地	7179	固定負債合計	2492
建物	2億5986	未払金	5605
構築物	45億791	その他流動負債	1
機械および装置	2億1979	流動負債合計	5606
車両および運搬具	114	負債合計	8098
工具器具および備品	408	自己資本金	14億1508
建設仮勘定	6097	借入資本金(※)(企業債)	19億5688
無形固定資産	9	資本金合計	33億7196
固定資産合計	51億2563	資本剰余金	18億7811
現金預金	1億8547	利益剰余金	3267
未収金	5128	剰余金合計	19億1078
貯蔵品	124	資本合計	52億8274
その他流動資産	10	負債・資本合計	53億6372
流動資産合計	2億3809		
資産合計	53億6372		

※「借入資本金について」

一般企業においては、長期借入金等は固定負債として整理されますが、地方公営企業は、株式発行による自己資本金の調達という方法がなく、企業の実態資本をなす固定資産は企業債を財源とする場合が多いため、この実態資本に対応する資金源泉としての企業債を広義の資本と考え、借入資本金という独自の制度を設けて整理しています。

損益計算書の要旨 (H23.1~H24.3.31) 単位: 万円

科目	金額	前年度比
営業収益…収入	4億5002	13.6%↓
給水収益	4億1894	4.1%↓
受託工事・その他収益	3108	63.1%↓
営業費用…支出	3億3544	13.7%↓
原水および浄水費	3502	5.3%↑
配水および給水費	4116	0.1%↑
受託工事費	2110	71.8%↓
総係費	3845	10.4%↑
減価償却費	1億9875	1.6%↓
その他	96	66.2%↓
営業利益【A】	1億1458	13.3%↓
営業外収益…収入	1991	15.6%↑
他会計補助金	371	0%—
その他	1620	19.9%↑
営業外費用…支出	7948	10.2%↓
企業債利息	7712	9.3%↓
その他	236	32.8%↓
営業外収益-営業外費用【B】	△5957	
経常利益【A-B】	5501	17.9%↓
翌年度繰越	3267	